

歴史を刻み、未来へとつなぐ節目のとき

◎愛媛県立北宇和高等学校創立80周年記念式

式辞を述べる沖田校長



11月2日、愛媛県立北宇和高等学校の創立80周年記念式が同校体育館で開催され、生徒、教職員、卒業生らが出席しました。式では、沖田浩史校長が「先輩たちに恥じないよう、立派な人間になって、後輩や仲間たちに歴史を受け継いでほしい」と生徒たちを激励。生徒を代表して、岡崎萌佳さんが「協和・責任・健康の校訓の下、変わらぬ伝統を受け継ぎ、鬼北の地を盛り上げる存在として精進していきたい」と謝辞を述べました。式典後は、岳人山氏による尺八演奏や、記念講演が行われ、節目を盛大に祝いました。

つないでもらった「いのち」を輝かせて

◎子どもたちのための人権集会

優しい歌声で会場を包んだ弓削田さん



10月22日、広見中学校体育館で「子どもたちのための人権集会」が開催されました。今年、合唱作曲家の弓削田健介さんを講師に迎え、「いのちと夢のコンサート」と題して講演を実施。弓削田さんは、「富より、名誉より、思い出が一番大事」という言葉を胸に、思い出に残るような曲作りや活動を行っています。ユーモアあふれる語りど、優しさが詰まった歌詞と歌声で命の大切さや、言葉が持つ力の偉大さを伝える弓削田さん。「せっかくつないでもらった命。それぞれに輝かせてほしい」と、子どもたちに訴えました。

「福祉のまちづくり」を目指して

◎第15回鬼北町社会福祉大会

ダイヤモンド婚表彰を受けるご夫妻



11月3日、広見体育センターで「第15回鬼北町社会福祉大会」が開催されました。式典では、長年ボランティア活動に貢献した人や団体、家族の介護を献身的に行った人に対する表彰が行われ、今年は4団体、6人が受賞しました。また、結婚60年以上の「ダイヤモンド婚」を迎える14組の夫婦を対象にお祝い状の贈呈が行われました。その後、精神保健ボランティアつじによる活動報告や、「病まないカラダをつくる腸健康法」をテーマに、東京医科歯科大学名誉教授の藤田紘一郎氏による講演が行われユーモアを交えたお話に、会場は笑顔に包まれていました。

爽やかなゆずの香りに包まれて…

◎秋の大収穫祭&ゆずまつり

毎年恒例の「ゆず搾りゲーム」



「秋の大収穫祭&ゆずまつり」は11月3日、道の駅日吉産地で開催されました。鬼北町の特産品であるゆずをはじめ、季節の野菜や果物など、鬼北の秋の味覚で埋め尽くされた会場内。この日は、日吉産地のオリジナル商品であるゆずを使ったパウムクーヘン「柚子ばうむ」がお披露目されました。ゆずの搾り汁の量を競い合う、「ゆず搾りゲーム」には、町内外から幅広い世代の方が挑戦していました。また、松山千春さんのものまねでおなじみの「小春」さんや、各種団体によるステージショーも行われ、会場を盛り上げていました。